

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	17S3029	院生氏名	齊藤 和快
通学キャンパス	小田原キャンパス		
論文題目	プロフェッショナルサッカー選手の競技復帰に必要な運動課題に関する研究		
審査結果(枠で囲む)	合格		
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>本論文は、プロフェッショナルサッカー選手の競技復帰の判定基準を明らかにするため、3つの研究を行った。本研究は本学研究倫理審査委員会の承認を得て行われていたことを確認した。</p> <p>研究1は、競技復帰に必要な身体能力について質問紙を用いて調査し、チームスタッフと選手の間で比較検討した。結果から、選手はスタッフと比べて競技復帰に必要な能力を低い基準で判断していた。研究2では、競技復帰に必要な理学療法士の視点を明らかにするために、プロサッカーチームに所属する理学療法士を対象に、Delphi法を用いてサッカーという競技の運動課題の抽出を行い、競技復帰に必要な運動能力について分析した。結果から上肢よりも下肢の運動課題がより多く抽出されたが、各運動課題が競技復帰までに再獲得される過程の分析については課題が残った。研究3では、上記課題の解決のため、受傷後のプロサッカー選手を対象として競技復帰に必要な運動課題の難易度について、項目反応理論を用いて調査した。結果から各運動課題の難易度を反映した項目反応曲線が求められ、各運動課題の難易度が明らかとなった。運動課題の難易度は連続および複合ジャンプ動作に関連する運動で高い傾向となった。</p> <p>本研究の新規性は、プロサッカー選手の競技復帰に必要な運動課題を抽出し、各運動課題の難易度が妥当性の高い方法によって数値化されたことにあり、競技復帰時の選手とスタッフ間の合意形成や競技復帰の過程における段階的な目標設定の基準化に寄与するものであり、サッカー選手の競技復帰における効果的なリハビリテーションの実現に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過について</p> <p>われわれ審査委員は、論文審査に先立ち副論文審査を行い、必要条件を満たしていることを確認した。その上で審査会を11月27日(水)に開催し、1. 論文の構成、2. 論文の新規性、3. 図表について、4. 統計について、5. 論旨の展開等についての質疑応答を行った。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>論文提出者は質問事項に対して真摯に回答を行った。論文の構成、統計処理、論旨の展開等について、一部修正を行うこととなった。</p> <p>4. 合否について</p> <p>1月8日の修正論文の確認において、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	糸数 昌史	
	副査	丸山 仁司	
	副査	東島 弘子	